

ニュースレター Newsletter



市民のためのがん治療の会

No. 2

2013. 4

Vol.10 (通巻 38 号)

巻頭言

「医療に力を入れる 議員が激減」



鈴木 寛

略歴

東京大学法学部卒業。通商産業省、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)環境情報学部助教授。2001年に参議院議員選挙東京選挙区で当選(現在2期)。医療危機打開議連(超党派)幹事長を歴任。2009年より2年間文部科学副大臣。内閣官房医療イノベーション推進室立ち上げに従事。民主党政策調査会副会長、人材科学技術イノベーションPT事務局長。現在、中央大学大学院客員教授、筑波大学客員教授、大阪大学医学部招聘教授、東京大学でも教鞭をとる。

2006年6月に参議院本会議において、「がん対策基本法案」が可決成立しました。私も法案作成チームの一員でした。それまでは、特定疾患に特化した法案が制定された前例はなく、幾度も成立が危ぶまれましたが、まさに命がけて成立に導いてくださったのが、民主党参議院の先輩でもあった、山本孝史議員でした。

自らががん患者であった山本議員は、5月22日の参議院本会議の壇上にてこの事実を告白し、がん対策基本法案の早期成立を呼びかけました。この時には「治らない胸腺がん」と医師から告げられ、ご自身の死期が近いことを自覚されていました。この演説を機に与野党の協議が一気に加速し6月16日に可決しました。

日本は2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなるという時代に突入しています。日本の医療崩壊が深刻化するなかで、私達は、がん基本法も受け、政権を獲得してから医療予算を13.5%増やし、その結果、外科医療に従事してくれる医師も増え、最悪の事態を切り抜けましたが、依然、多くの課題を抱えています。しかし、昨年(2012年)の12月の衆議院選挙では医療政策は争点にならず、3年間日本の医療現場支援をリードしてこられた仙谷由人議員も落選してしまいました。

医療に力を入れる国会議員は激減してしまいましたが、私は今後もがん医療の立て直しに全霊で取り組んでいきたいと思っています。「市民のためのがん治療の会」の皆様には、引き続き、多くの市民のみなさまが医療の大切さ、医療予算の充実について理解を深めていただくため、その先頭に立っていただければ幸いです。

「市民のためのがん治療の会」の会員の皆様へ

当会代表協力医・国立病院機構 北海道がんセンター 名誉院長 西尾 正道

2013年3月で定年退職いたしました。1974年3月に札幌医科大学を卒業後、国立札幌病院・北海道地方がんセンターで2年間研修医として勤務し、その後もそのまま勤務し、がん治療一筋の医師人生に一区切りをつけることができました。これも皆様のご指導・ご支援のたまものです。本当にありがとうございました。

3月16日には会員の皆様が「感謝と懇親の夕べ」を開催し、北海道内はもとより、高知や名古屋や山形などの遠方からも沢山の皆様が参集して頂きました。感謝の言葉もありません。

当会も本号で通巻38号となり、年4回刊行ですので、10年目となります。よく続いていると思いますが、これも會田昭一郎会長の優れた事務能力と志のたまものです。また長年のがん医療に関わってきたことにより得た人脈が財産となり、全国の多くの医師の皆様が協力してくれた事によります。心から感謝申し上げます。

日本のがん医療では放射線治療は上手に活用されていなかった現状を改善すべく、当会は放射線治療に軸足を置いて医療情報を提供し、納得のいくがん治療を受けることができるようにと思い活動してきました。またセカンドオピニオンも千人以上を扱ってきました。それにより治療に関する情報を得て決断したり参考となった方もおられ、少しは皆様のお役に立つことができたものと思います。

今後の生活は、月曜日の午前中は北海道がんセンターで「がん何でも相談外来」をボランティアとして継続します。また北海道厚生局の業務として行っている道内医療機関の臨床研修の審査専門員としてお手伝いする予定です。また火曜日は、美専学園北海道医薬専門学校で校長として、看護師や診療放射線技師の育成に関わり、講義等で時間を使う予定です。その他に、週の後半は原発事故による健康被害の問題に取り組む予定です。そのため超音波検査装置を購入しました。子供達の甲状腺検査を出向して行う予定です。

TPPへの参加により、今後の日本の医療は、経済力のない人達にとっては更に厳しいものとなると予想されます。政府の政策裁量権が大きく損なわれるからです。具体的には、政府の政策自由度が狭まり、国民皆保険制度による診療内容の縮小があります。これは医療費の支出を抑えようとする政府の思惑とも一致します。また営利法人が認められることにより医療費が上昇します。さらに薬価を決定する際に、政府とは別の検討機関が評価することにより、薬剤費が高騰します。

超高齢化を迎え社会保障をどのように構築するのか、また慢性的低線量放射線被ばくの人体への影響など、人類にとって歴史上初めての課題に日本の社会は直面しています。皆様もこうした問題に関心を持って自分達の生活と健康を維持して頂ければと思います。

今後もささやかながら当会の活動を支援したいと思いますが、日常臨床から離れたため、少しはペースダウンしたいと思っています。またこれを機会に代表協力医を沖本智昭先生に交替します。今後ともよろしく願いいたします。



村橋恒さんが西尾先生に花束贈呈

西尾先生、お疲れ様でした

市民のためのがん治療の会 代表 會田昭一郎

西尾先生が北海道がんセンターを定年退官されました。

当会としては代表協力医として引き続きご指導ご協力いただくことには変わりはありませんが、やはりなんといっても大学卒業後ずっと勤務されました北海道がんセンターをご退官されますのは、先生にとりまして一区切りでございます。ご就任当時は放射線治療についての理解がほとんど得られず、当時は国立札幌病院ということで高額な放射線治療機器も導入できないという多くの困難のなかで小線源治療などに活路を見出され着実に実績を積み重ねられ、北海道をわが国多数の放射線治療先進地域に導かれました。また、特にこの10年近くは、北海道のみならず全国レベルでのがん医療全般についてのリーダとして、文字通り獅子奮迅のご活躍をなさいましたことは皆さんの良きご存じのとおりです。

3・11以後は福島原発事故後の人々の放射線被害防止のために、オピニオンリーダーとしてだけでなく、実践活動を通してご活躍中です。さらにご退官後は超音波検査装置を購入され、福島等の子供達の甲状腺検査を出向して行うなどのご予定とのことです。

みなさんと共にこれまでの西尾先生の「市民のためのがん治療の会」のみならず全国に及ぶ献身的なご指導ご協力に心から御礼申し上げますと共に、これからも当会の協力医として、引き続きご指導ご協力いただきますようお願い申し上げます。今後のご活躍とご健康をお祈りいたします。



北海道支部長辞任のご挨拶

市民のためのがん治療の会 北海道支部長 木村 勝夫

この度 市民のためのがん治療の会 北海道支部長を降りる事になりました。上咽頭がんに罹り、西尾先生の放射線治療を受けたのが20年前になります。完治宣告を受けた時期、たまたま會田会長が市民のためのがん治療の会を立ち上げました。西尾先生から「出来る範囲で良いから會田会長を手伝ってくれないか」と依頼され、断る理由が見つからず、お手伝いを始めたわけですが、いつの間にか10年が経過しました。

「3年に1度位のペースで北海道で講演会を開催したいので、その時は手伝ってくれ」と言う言葉（数字）を今も鮮明に覚えています。騙されたという認識は全くありませんが、道央（札幌市）で3回、道南（函館市）道北（旭川市）道東（帯広市）でそれぞれ1回講演会を開催しました。北海道全域に西尾節をご披露出来た事に達成感を感じます。

一番忙しかったのは、北海道文化放送のテレビ番組に會田会長西尾先生そして今は参議院議員になられた当時はリポーターだった徳永エリさんが出演され、毎週、がん難民対策を語られた時でした。自宅電話に問い合わせやら質問やらが殺到しました。当時は大変な目に遭いましたが、今は良い思い出と化しています。

また、平成19年9月、西尾院長の尽力で、北海道がんセンター内の一室が、がん患者会活動用として無料開放されました。がん患者会活動サロンひだまりの発足です。北海道支部は、毎月第3水曜日13～15時、毎月欠かさず月例の患者会を開催しています。5年半約66回欠かさず事なく開催続けています。特別な事情がない限り西尾先生が顔を出してくれました。がん治療専門医に同席を頂けるといふ夢のような患者会でした。不安に満ちた顔で参加した人が西尾先生のアドバイスを受け、全く別人のごとく笑顔で帰って行く姿を数え切れないほどみてきました。

色々な患者会に参加しました。自分の悩みや心配事を話したい聴いて貰いたいと言う事で参加されての方もあります。しかし、一番求めているのは医療情報です。この要求に答えるのは、横断的ながん情報を持つ放射線治療医が最適です。

幸運にも北海道がんセンターには、山口県支部長の経験をお持ちの沖本智昭先生がおられます。そして、西尾先生同様私どもが開催する患者会に顔を出して貰える事になりました。

「がん治療専門医に同席を頂ける患者会」追求していきたい・発展させていきたい、全国に広める魁となりたい支部活動です。

長いような短いような、お手伝いが出来た様な出来なかったような複雑な心境です。数多くの患者さんやご家族の方と真剣に向きあった思い出は生涯忘れることが出来ないように思います。

私は、家庭の都合で北海道を離れますが、上咽頭がんの治療受けから20年、西尾先生の近くで過ごせた事に感謝しています。離道と支部長下番に当たっての願いは2つ、1つは、西尾先生の体重が、函館ラサール高校のバスケットボール部で機敏に動き廻っていたあの頃に少～して良いから戻ってもらい、スリムな身体で新たな職場で御活躍いただきたいことです。もう1つは孤軍奮闘中の會田会長のお手伝いをする支部が各地に設立される事です。この2つの早期実現を祈念し、北海道支部長辞任の挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

木村支部長、そして奥様、本当にありがとうございました

市民のためのがん治療の会 代表 會田昭一郎

「もうがんのことはすっかり忘れたところへ、命の恩人の西尾先生から手伝ってくれないかと言われて…」最初に木村支部長にお会いした時、戸惑いを隠せない様子でこう言われたのを今でもよく覚えています。降ってわいたような話で、おまけに東京とは離れたところで本部との緻密な連絡も思うように行かぬまま、優れた統率力と温かいお人柄で、道内の会員の皆様の中心的存在として会の発展に尽くしていただきました。特に創立直後にNHKや地元UHBなどのテレビ各局に西尾先生などが出演した時には、電話、FAX、手紙などが殺到し、大変なお手数をお掛けしました。また、北海道各所で行いました講演会の際には自らマイクロバスをレンタルして皆を連れてくださり、帰途には沿線の名所などにご案内くださいました。こうした働きの細々とした事務処理などを陰に日向にフォローしてくださいましたのが奥様でした。心から御礼申し上げます。

このたびご家庭のご事情で北海道を離られることとなり、残念ながら支部長を辞されることとなりました。これまでの献身的なご協力に、北海道の会員のみなさまをはじめ会を代表して、満腔の謝意を表するものであります。



心機一転

当会代表協力医・北海道がんセンター 放射線診療部長 沖本 智昭

西尾正道先生に代わり、市民のためのがん治療の会の代表協力医をお引き受けする事になった沖本です。この場をお借りして、西尾正道先生へのお礼と代表協力医としての今後の取り組みについて述べさせていただきます。

まず西尾正道先生。日本の放射線治療を39年間牽引して来られ、無事定年退職されたこと心よりおめでとうございます。不思議なご縁で、お声をかけていただき、北海道がんセンターの放射線診療部長および市民のためのがん治療の会の代表協力医という重責を引き継ぐ事になりました。当然不安はありますが、誰一人真似が出来ない西尾先生の後任なので、逆に気楽に自分らしく全力で取り組んでいくので、今後ご指導ご鞭撻の程、よろしく願い申し上げます。

次に、代表協力医としての今後の取り組みについてです。

協力医として会に関わってきた経験から、代表協力医としての大きな仕事は二つと考えています。

一つは、全国各地で行われる市民のためのがん治療の会が主催する講演会への取り組み。

もう一つは、セカンドオピニオンの回答です。

この二つの仕事を改めて振り返ってみました。

講演会は平成16年から平成24年まで9年間で計45回、多い年で年8回も開催され、そのほとんどに西尾先生は出席され、自ら講演されています。

またセカンドオピニオンに関しては1,400例近い相談のほとんどを西尾先生が回答されています。

日本の放射線治療施設としてトップクラスの放射線治療患者を抱える北海道がんセンターで、放射線治療医かつ病院幹部（統括診療部長、副院長、院長を歴任）として勤務しながらこの仕事量は、想像を絶するものです。

がん診療全般についての豊富な知識と経験はもちろん、体力、読者や聴衆を魅了する文章力と話術（文章力や話術は学生運動時代の財産？）をお持ちの西尾先生だから出来たのは間違いありません。

西尾先生に勝るのは体力だけという私が同じ事をやろうとしても無理なのは明らかです、今後、本会を継続していくためにも、一人のスーパーマンに頼り切るシステムから脱却する良い機会と考えました。

そこで、講演会とセカンドオピニオンの回答は、各地域の協力医の先生が中心で行っていくシステムを作る事とします。

西尾先生の呼びかけで、市民のためのがん治療の会の協力医は、全国に多数いますが、実質的には名前だけという現状です。

これは、協力医の先生方が非協力的というのではなく、西尾正道というスーパーマンがいたから自然と出番が無かっただけなのです。

それに西尾先生が呼びかけてから、かなりの年月が過ぎ、協力医の先生方の勤務されている病院もかなり変更しているので、改めて、当会の協力医を選定し直します。

引き続き協力医には多くの放射線治療医に入っていただく予定ですが、その中で各地域に一人または二人の地域代表協力医を決め、その地域で行う講演会とその地域の患者さんからのセカンドオピニオンに回答していただき、代表協力医としての私は、地域代表協力医の先生をサポートする（講演会のお手伝いと出張や多忙な時期には、代理でセカンドオピニオンに対応する）システムにしたいと考えております。

最後になりましたが、会員の皆様からのご要望も組み入れていくので、どしどし忌憚りの無いご意見をお聞かせください。

沖本先生、宜しく願いいたします

市民のためのがん治療の会 代表 會田昭一郎

山口大学病院時代から市民のためのがん治療の会の活動に積極的にかかわってくださり、山口県支部長も引き受けてくださっております沖本先生が、北海道がんセンターに移られて2年近くになろうとしております。この間沖本先生は、医学的なことはもちろんですが、西尾先生の市民と共に医療を変えようという活動に日常的に触れられ、地域の活動としては毎月第3水曜日の「日だまりサロン」なども直接経験されました。また、様々な講演会等の当会の活動にもこれまでも積極的にかかわってくださっております。セカンドオピニオン回答につきましても、すでにかなりお引き受けいただいております。

ということで本務先での業務はもちろん、市民のためのがん治療の会の活動の面でも十分にご理解をいただいたうえで、満を持しての代表協力医ご就任ということで、西尾先生も安心してバトンタッチされたことと思います。

沖本先生のご就任のご挨拶にもありますように、新しい仕組みを構築しようとビジョンを描いておられます。

西尾先生が一線を引かれるということをきっかけにして、会も間もなく創立10年、「心機一転」新しい道を進みたいものです。

みなさんと共に沖本新代表協力医のご活躍とご指導に期待しましょう。

西尾先生へのメッセージ～北海道支部の方々より

❧ 患者会活動の難しさ ❧

三月いっぱい西尾先生が北海道がんセンターの院長を退任される事となり、併せて設立以来北海道支部長を務めておられた木村勝夫支部長が、来年の東京転居の関係などで退任される事になりました。

西尾先生の後任のアドバイザーは、元山口支部長され、現在北海道がんセンター放射線診療部長をされていた沖本智昭先生にお願いする事が出来ました。ところが、木村支部長のあとを引継いで下さる方が、なかなか見付かりません。

患者会に参加される主な人達は、現にがん患者であり、患者をやっと卒業した元患者の人達です。そして北海道支部の例会は平日の昼間に開催してますから、出席出来るのは、仕事を終えた年配者や、仕事もままならない、重症患者です。そんな中で支部長を引継ぐと云う人を探すのは、至難のわざでした。

でも支部長を引き継ぐと云う人はいませんが、この例会が続く事を望む人達は圧倒的です。

議論を繰り返し四～五名の世話人で例会を続ける事を決めましたが、木村支部長当時の活動は望むべくもない状況です。

今回の事で患者会を続ける事の苦難さを思い知らされました。全国に沢山あるいろいろな患者会を引っ張っている方々に感嘆いたします。「市民のためのがん治療の会」でも各地でどうして支部が出来ないのだろうと思ったこともありましたが、良く理解できました。

協力する事は出来ても、中心になって引っ張る事の難しさを、考えてしまいました。

本部の會田さんは、さらに大変でしょうが無理をせずに頑張ってください。本部が無くなってしまうと、すべてが終わりになりますから。 ❧❧ 高松 岡

いつかはこんな日が来ると思っていました。本当に残念です。こちらの会には母が子宮ガンになった事から入会しました。送られて来る小冊子や購入した本を読むたびに、めざましい医療の進歩や、たずさわる先生達の考え方がわかり、たのもしく思っています。今度は兄が舌ガンになり、ますますこの会にたよって生きたいと思っています。運営は大変かと思いますが、全国のガン患者のために頑張ってくださいと思っています。 ❧❧ 函館市本通4丁目 M・K

小生平成22年12月前立腺ガンの手術として小線源の先進的治療を受け今ではPSA値も0.3に下がり家族とも感謝しております。西尾先生に是非お会いしてお礼申し上げるのが筋でございますが、遠方と車の運転に難ですので大変残念ですが、欠席とさせていただきます。先生には日本の医療改革、発展のため、更なるご活躍が望まれていると存じます。お身体に気をつけられ、尚一層のご精進を祈念致します。 ❧❧ 中富良野町新町 S・G

私の母(104歳)の介護をしているものですから、西尾先生の送別会に参加出来ません。申し訳なく思っております。昨年帯広の北斗病院で6月23日(土)開催されました講演会に参加させていただきました。西尾先生のご講演を初めてお聞きいたしました。医学の素人であった私でも理解できるガンのお話で、しかも西尾先生の自信を持った力強いお声で私の心に迫るものがございました。ご勇退なされてもどこかの研究所か病院で、ガン患者のためにご努力くださいますことを心から願ってやみません。お元気で活躍下さいますように。 ❧❧ 北見市中ノ島町 K・R

御二人共退任されますことは、残念至極でございます。10年間本当にご苦勞様でした。私も癌の方は治っているのですが、パーキンソン病にかかり歩行が困難です。若し御都合がおつきになりましたら、川湯温泉にもお立ち寄り下さいませ。御待ち申し上げております。ありがとうございます。 ❧❧ 川湯温泉ホテル N・M 拝

セカンドオピニオンをなかなか探せずにいた時、相談ののっていただきありがとうございます。送別会にうかがいたかったのですが、まだ体調が思わしくない為、遠慮させていただきます。會田様も患者の立場で会をたちあげていただき感謝感謝です。お身体を大切にお過ごし下さい。また木村様も10年もの支部長お疲れ様でした。東京で楽しく暮らせる事を祈っております。ありがとうございます。 ❧❧ 伊達市松ヶ枝町 N・K

いつも大変お世話になっております。西尾院長および會田会長様へこのたびは長い事大変おつかれさまでした。お体を大切にしていつまでもお元気でいて下さいね。 かしこ ❧❧ 札幌市北区 K・M

西尾先生の多年にわたるガン予防・治療の啓発活動に深甚なる敬意を表し、今後のご活躍を祈念しております。

❧❧ 札幌市厚別区 T・H

会報など送付いただきありがとうございます。がん治療についての貴重な知識等参考とさせていただきます。西尾先生、會田会長様、木村支部長様外のお力により会が成り立ち私達会員は貴重な知識を得させていただきました。感謝です。西尾先生、會田会長様、木村支部長様のご健康をお祈りいたします。 ❧❧ 千歳市自由ヶ丘 E・K

ご案内ありがとうございます。参加出来ず申し訳ありません。いつも情報等感謝申し上げます。ある程度受け入れ、後は「天におまかせ」で普段一生懸命命かされておられますと「生きる」という概念も我欲ととらえてしまいます。これが今の心情です。長い間お疲れ様でした。どうぞごゆっくり余生をお過ごし下さいます様、陰乍らお祈り申し上げます。

❧❧ 北見市とん田東町 S・S

6 Vol.10【No.2】

西尾先生は退職後どこにお勤めになるのでしょうか？ 再発、転移など心配ごとの相談は、どこに行けば良いのか不安です。西尾先生を頼って受診できる場所を確保しておきたいのです。 ☺☺ 帯広市西16条 S・S

いつも御世話になりましてありがとうございます。 ☺☺ 千歳市信濃 E・T

当日、別の会議が入っているので欠席します。
近所に仲間が居ると思うのですが、会員名簿等有ればさそい合えるので知りたい。 ☺☺ 札幌市厚別区 M・H

ご案内有難うございました。西尾先生にお目にかかりお礼申し上げたいところですが入院しております。2月6日に退院したばかり、今回は見送らせて頂きますので、木村様からくれぐれもよろしくお伝え下さいませ。 ☺☺ 室蘭市水元町 K・M

ご尽力に感謝しております。本当にありがとうございました。木村様いつもご案内の手紙を送付下さりありがとうございます。東京に行かれましてもお元気で過ごして下さいませ。 ☺☺ 札幌市南区 T・K

平成14年に悪性リンパ腫で西尾先生の放射線治療を受け、現在元気です。私も3月31日定年退職致します。西尾先生ありがとうございました。当会を運営されている皆様、ご苦労様です。ニュースレターを楽しみにしている1人です。今後ともよろしくお願いいたします。当日諸用で参加出来ません。 ☺☺ 札幌市北区 Y・K

長い間ご指導いただきありがとうございます。お元気で。今後ともよろしくお願いいたします。 ☺☺ 常呂郡訓子府町 K・A

ありがとうございます。 ☺☺ 空知郡南富良野超 T・M

懐かしいお知らせ、有難うございます。私も1人になりましてから転んで骨折し、今は二本の杖で何とか歩いております。参加したい気持ちは一極ですが、1人で行動できないので欠席させて頂きます。お元気で。 ☺☺ 札幌市北区 H・K

木村様 長いことご苦労様でした。西尾先生の増々の御活躍をお祈り致します。 ☺☺ 札幌市北区 O・Y

木村様 3年前に胃癌手術を受けた時、何度か電話で相談させていただきありがとうございます。札幌を離れられるとの事ですので、どうぞお体ご自愛下さい。今我が家の犬が心配な状況で私一人暮らしのため出かけることが出来ません。失礼いたします ☺☺ 札幌市南区 K・M

西尾先生のご尽力に対し心から感謝申し上げます。今後も当会に対してご指導頂きますようお願い申し上げます。 ☺☺ 北広島市高台町 Y・K

長い間ありがとうございます。西尾先生におかれましては大変ご無理な中でのご協力とご尽力に深く感謝いたします。今後のご活躍とご健勝の程お祈り申し上げます。

木村様 長い間のご活動ありがとうございます。ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。 ☺☺ 北広島市松葉町 T・E

西尾院長先生

月日の経過の早さに驚いております。長い間お疲れ様でした。ガン治療の最前線の情報を私たちにもわかるように教えて下さりありがとうございます。超多忙な中、北海道支部のためご尽力下さり本当にありがとうございました。 ☺☺ 帯広市西21条 T・Y

先生と木村支部長のご健勝お祈りいたします。所用で出席出来ませんことをお詫びいたします。 ☺☺ 札幌市南区 W・K

残念です。頼りにしていましたのに。 ☺☺ 室蘭市 K・K

体調不良で参加出来ませんが、西尾先生には病気を直して頂きまして心から感謝して居ります。ありがとうございます御座いました。 ☺☺ 札幌市西区 K・S

西尾院長先生、木村支部長様には大変お世話様になりました。有がとうございました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。 ☺☺ 石狩市花川 G・I

いつもありがとうございます。父は施設に入所致しました。それでこの会を辞めたいのですが…。長いあいだありがとうございます。 ☺☺ 滝上町 I・M

西尾先生「市民のためのがん治療の会」のためご苦労ご活躍され本当にありがとうございました。先生が定年退職されると聞きびっくり致しております。今後もますますご健勝でご活躍されますようお祈り申し上げます。

木村勝夫様 10年間會田会長を助けられ「北海道支部長」のお仕事本当にご苦労様でした。心からお礼申し上げます。ますますのご健勝お祈り致しております。当日参加出来ませんが皆様によろしくお伝え下さい。 函館市陣川 T・G

永い期間、有難うございました。お元気で今後も業務にお力をお貸し下さいますようお願い申し上げますお体大切にお過ごし下さいますように。 石狩市花川 M・K 拝

申し訳ありません。都合がつかず参加出来ません。西尾先生には別の機会にお会いする予定です。會田会長ご無沙汰しております。皆様によろしくお伝え下さい。 旭川市7条通 K・K

ご案内いただきありがとうございます。浜田恵美子の娘で芳恵と申します。母は頑張ってくれたのですが、2年前に他界し今月3回忌を終えたところです。地元の病院からの紹介状で西尾院長先生に診察いただけたこと、母は先生を信頼、安心して病氣と向きあっていたように思います。私達家族も同じでした。心からお礼申し上げます。ありがとうございます。西尾院長先生の御健康と益々の御活躍を祈り申し上げます。 雨竜郡妹背牛町 浜田 芳恵

父ががんに、わらにもすがる思いで西尾先生にセカンドオピニオンをお願いしました。患者の家族としてアドバイスをしてくださる先生は心強いです。小生、昨年、町長をしております。何か私にできることがありましたらご連絡下さい。 福島町 佐藤

私は地方で乳がんの治療を受けていましたが、その間、西尾先生の事は新聞・テレビなどで知っていました。その後、六年目で再発、治療を受けている時に、新聞で平成22年7月に「市民のためのがん治療の会」主催での西尾先生の講演が目にとまり、放射線治療の事を知りたいと思出席し、その時話を聞いてもらいアドバイスもいただき、先生の治療を受けるようになり、おかげ様で助けていただきありがとうございます。

これからは、1日1日、大切に生きて行きたいと思います。西尾先生に出会えたことに感謝をして居ります。

今後ますますのご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。 網走郡津別町 梶原眞貴子

3月16日「感謝と懇親の夕べ」出席者からのメッセージ

西尾先生 本当にお世話になりありがとうございます。
會田会長 市民のためのがん治療の会が、北海道、日本のがん治療を患者の側からけんいんしてきた力は大きなものです。これからも共に頑張っていけたらと思っています。よろしく願います。 函館 元気会 S・S

この度、この様な会を催して頂き感謝申し上げます。西尾先生には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございます。21世紀になって一人も再発させていないという言葉が忘れられません。 札幌市中央区 T・Y

暫くご無沙汰致しておりましたが、西尾先生ご退職される事お聞きし驚いており、とても残念に思います。送別会には是非参加させて頂き、先生のお元気なお声を聞かせて頂くのを楽しみに致しております。 札幌市北区 S・Y

心より感謝申し上げます。 札幌市西区 I・S

私は平成19年から入会致しました。舌癌術後の砂川の井上でございます。月例会には参加出来ませんでしたが北海道の研修会では西尾先生の講義を毎回楽しみに拝聴しておりました一人でございます。退官されましても益々のご活躍をご祈念申し上げます。

會田会長様 健康に留意され、会の今後のご発展にご尽力宜しく願い申し上げます。
木村支部長様には環境が変わりますので重々ご自愛戴き、これからの人生を楽しんで頂きたいと思存じます。ありがとうございます。 砂川市 I・H

西尾先生 永い間、お世話になりました。
木村会長 会のお世話、永い間、ご苦労様でした。お二人様ありがとうございました。 札幌市清田区 S・T

西尾先生へは当日、会場でお逢いして直接感謝の気持ちをお伝えしたいと思っております。
木村支部長様へ 10年もの永い間北海道支部長の重任をお引受下さり、色々とお手数をおかけしました。心から感謝しております。これからはゆっくりされてお元気で過ごして下さい。本当にありがとうございました。 札幌市東区 A・E

8 Vol.10【No.2】

西尾先生に3年前セカンドオペニオンをして頂きました。大変心強く安心して手術を受けることができました。ありがとうございました。これからも患者の為に社会の為に御活躍願えればと思います。御健康でありますようお祈り致します。ありがとうございました。 ◇◇◇ 函館市桔梗 K・H

西尾先生には肺切除術時、セカンドオペニオンで大変お世話になりました。ありがとうございました。木村様には長年の御世話ありがとうございました。北海道支部の活動にとっての存在大きいものでした。感謝しています。 ◇◇◇ 札幌市中央区 K・M

がん対策条例ができ、これから少しでも西尾先生のご指導を活かして努力してまいります。今後ともどうぞ、よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。 ◇◇◇ 札幌市白石区 H・M

札幌でのセミナーを開いて欲しい。 ◇◇◇ 岩内郡共和町 Y・Y

毎日毎日ガン患者さんの為に働いて下さって有りかとうございます。10年……、ここまでになるには一生懸命でしたよね。テレビに出たり、なにごと最初にするって、行動するって、なみならぬ事です。私も、自分なりにマイペース体を気にしながら生活しています。ところで、年会費少し上げてはいかがでしょうか？ ◇◇◇ 室蘭市輪西町 I・K

西尾先生に於かれましては退職後も、当会並びに道支部の活動にご指導ご支援頂く機会が有ります様、願ってます。 ◇◇◇ 札幌市西区 S・Y

西尾先生 定年おめでとうございます。そして長い間ご苦労様でした。定年はゴールインスタートです。これからの西尾先生の御活躍を楽しみにしています。木村会長様長い間ありがとうございました。 ◇◇◇ 苫小牧市ときわ町 I・R

今まで有りかとうございました。感謝 かんしゃ 感謝 かんしゃ しています。 ◇◇◇ 札幌市西区 N・R

初めまして、西尾院長先生とは未だお話をしたことは有りませんが、本は何冊か読ませて頂き共感しております。昨年3月、西尾院長先生の部下の西山先生に小線源治療でお世話になっております。會田会長、木村さんとも初めてなので、会場でお目にかかりたいと思います。今後共、皆様健康に注意されこれからは情報の提供やアドバイス頂けたらと思っています。 ◇◇◇ 札幌市厚別区 K・H

ガンになって満7年、市民の会に入会する事が出来、西尾先生のはっきりしたお話で、どのくらいなぐさめ心のささえになった事でしょう。お礼申し上げます。また、会の皆さんにも良く来たとはげまされどれだけうれしかった事でしょう。ありがとうございました。 ◇◇◇ 恵庭市和光町 S・K

いつもご案内いただきありがとうございます。 ◇◇◇ 帯広市西24条 E・M

お志を頂いた方からのメッセージ

西尾先生の退職に引退の知らせに絶句しております。

平成17年、膀胱ガンの宣告を受けまして、思考力ゼロ、暗闇のドン底に…、そんなある日新聞に（市民のための会）の広告に飛びつき早速判断を仰ぎ俄然希望に変わり、確りと、方針を決断地元で手術、その結果次第で、放射線治療と決め、後は運次第と決め迷いから救われました。結果も良く、いまだ再発もなく人生の後期を楽しんでおります。今でも万一癌に、又ご指導と安心の日々でございましたが残念です。神様のような、先生ですので、何れかでは活動されておられるのでしょうか、ご自身の健康にも充分ご留意されまして、多くの人々のために、活躍して下さい。送別会への参加はチョット無理なようで欠席いたします。お礼にも、ならぬが好物の一切れでも召し上がって戴きたく、ほんの志のつもりです。心よりお礼申し上げます。 ◇◇◇ 釧路市星が浦大通 O・R

厳しい寒さが続いておりますが、貴職におかれましてはますますご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、私、8年前に、肺がんと宣告され、怒濤に暮れ葉にでもすがりたい心境でありました。テレビのある番組で西尾先生・市民のためのがん治療の会支部長の木村様のご活動のことを知り、さっそくご連絡したところ心よく入会を認めていただき、数々の力強いお言葉をいただきありがとうございます。

西尾先生からは、治療の病院など聴かれまして、北見赤十字病院で手術を予定していますと告げると、北見赤十字病院は、スタッフもそろっているから大丈夫でしょうと言われ、困った時はいつでもおいで見てあげるからと、心温まるお言葉をいただきました。お陰様で、北見赤十字病院主治医から完治したことを告げられ、赤十字病院の先生・西尾先生・木村様のお陰と深く感謝申し上げます。

せっかくのご案内、出席できず申し訳ありません。心ばかりですが同封しましたので、退職記念・送別会等にご利用いただければ幸いです。西尾様によるしくお伝え下さい。

常呂郡訓子府町 K・A

ご参加頂いた皆様、メッセージを頂いた皆様へ

西尾先生の定年退職に伴う「感謝と懇親の夕べ」無事終了いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。皆様から返信用葉書等によって頂いた先生に対するお礼のメッセージは、先生にご一読頂くと共に、一部を会場で読んで頂きました。また、ご氏名を秘匿し、ニュースレターに載せて頂くよう処置しましたのでご了承下さい。

皆様大変関心を持っておられた、先生の定年後のお仕事は、月曜日は北海道がんセンターで「がん何でも相談外来」をボランティアとして継続するそうです。その他に、北海道医薬専門学校で学校長の仕事で毎週火曜日勤務され、また道内の臨床研修審査専門官として少し時間を使われるそうです。しかし週後半は、原発被害の問題に取り組む予定とされており、甲状腺の検査をする超音波診断機器を自費で購入され、被災地や避難地域を巡回され、被災者の健康相談や精神的ケアに努められるとのことでございます。頭が下がります。

毎週月曜日は北海道がんセンターで「がん何でも相談外来」を継続します。とのお挨拶があって時は、会場内からウオーという歓声と拍手が起こりました。この様な事をやっている病院は有りません。出来る人も居りません。しかし、この様な素晴らしい事をやっていることを殆どの方は知りません。宝の持ち腐れです。私どもが先駆けとなってPRに努め、一人でも多くの方から、命の恩人と言われるように努めたいものです。宜しく願います。頑張りましょう。

朗報はもう一つ有ります。北海道支部が活動の目玉としている「がん治療専門医にご同席を頂く患者会」は沖本先生のご協力を頂き、継続開催が出来るようになりました。毎月第3水曜日13時～15時、北海道がんセンター内の「がん患者会活動サロン（ひだまり）」で開催します。5年半約65回一度も休む事なく開催を継続している月例患者会です。

北海道支部長を下番するにあたり、後任の人選が適わなかったことは大変残念であります。これからしばらくの間 支部長等の役職員を置かず、浜下洋司さんが事務局長となり、共同で支部を運営していくようでございます。皆様のご協力、宜しく願います。

がん3兄弟の話 あまり上手にお話出来なかったのが、本音の本（放射線治療医の本音 増補改訂版）46頁に書かれているものと同じ内容のものをお届けします。10年経過していることを考慮して下さい。かまぼこは仙台の甥、サクランボは山形の甥、私は年賀状だけでした。ご笑覧下さい。

家庭の都合で北海道を離れますが、厳しい寒さとは反対に、温かい方々が多かったなあという思いで一杯です。皆さんと向きあった日々 生涯忘れません。

闘病中の方も居られると思います。一日も早いご快癒をお祈りいたします。

北海道支部長在任間のご協力、誠にありがとうございました。

平成25年3月末日

木村 勝夫 拝

西尾先生へのメッセージ～会員の方々より

「それじゃあ、ゴールデンウィークの間に直すかい？」

これが、初めて電話で話した時の西尾先生の言葉でした。

いままで、病気らしい病気もしたことのなかった私は、突然、ガン宣告を受けて、頭の中が真っ白になり、生まれて初めて死を身近に感じ、不安でいっぱいになっていましたが、この言葉を聞いたとき、不思議と不安や恐怖がスーッとひいていくのを感じました。その事も無げな口調を聞いて、ちょっぴり笑顔にもなっていました。あのちょっと高めの声のトーンとエネルギッシュな喋り方、そしてなんととも言えないあったかい北海道弁のイントネーションが、私にピタッとハマったのかもしれない。

人間には好き嫌いの他に、合う合わないがあると思うのですが、（先生は嫌がるかもしれませんが）私にとって西尾先生は、「これぞ私の運命の人！」ひょっとしたら赤い糸で繋がっているのかも（笑）と思える程でした。

その後も、先生の声と言葉には、何度も救われました。

「首のリンパにも怪しいものがあるけど、僕は怪しいだけでは若いお嬢さんの首は切らん。あんたはガン患者の中では若手だからね」

毎日数回、刺した針が浮いていないか手で押さえて確認するときも「痛いろうけど、手加減はしない。ここで気を緩めたら、健康な部分が被爆し大手術になって、後でもっとたいへんな思いをさせることになるからな」

「できるだけCTとかエコーとか機械は使わない。機械にかけてもわからないものはわからないんだから。触診が一番」と言って丁寧に時間をかけて触診して下さったあと「これで、210円だ～」高知から何万もかけて検診に行っていたのに、会計でホントに「210円です」と言われたときは、最初のうちは「？」、なんだかなあ～って感じでしたっけ（笑）

先生の言葉を聞いていると、ホント魔法にかけられたように笑顔と元気になるんです。おっしゃっている内容は、あとで

10 Vol.10【No.2】

冷静に考えてみると結構きつい事をズバっと言ったりするんですが、その時は西尾マジックにかけられてしまうんですね。

一番びっくりしたのは、私が処置室で待っていた時に、隣の部屋から西尾先生の声が聞こえてきたんです。「運が良かったなあ」、患者さん「再発じゃないんですか?」、先生「再発だっ」、患者さん「えっ!!」、先生「でも、このガンは発見が早いから、見つかったら直ぐに治療したらいいだっ」、患者さん「治療したら、治るんですよ」、先生「残念ながら、何度も何度も出てくるかもしれないけど、大丈夫!出てきたら、その度に叩いたらいいから。まあ、モグラ叩きのようなもんだな」、患者さん「あっ、そうかあ〜。出てきたら叩いたらいいんですね」、最初は不安そうな患者さんの声が、だんだん明るくなって、最後には元気になって帰っていったんです。私は「え〜!!再発〜!!何度も再発するの〜!?大変じゃん!」と思ってドキドキしていたんですが…。不思議ですよ〜!!

先生、まだまだのんびりしたらダメですよ! (まあ、そんなことはないとは思いますが…) これからもこの特技を活かして、不安で押しつぶされそうになっている、多くの患者さんの命と心を救い続けてください。お願いします。

ありがとうございました。(嫌がられても) これからも、先生について行きます (笑) ∞∞ 高知 宮地 郁子

感謝とお礼の言葉

西尾先生ががんセンターを退職されるにあたり、感謝とお礼の言葉をお伝えします。

あれはもう4年前になりますが前立腺がん、しかも骨転移の段階まで進んでいるという事実を伝えられてどうしたらいいのか途方に迷いました。ちょうど、運良く「市民のためのがん治療の会」の存在を知り、しかも西尾先生からのセカンド・オピニオンによるご指導を受けられることを知りました。しかし、どのようにご相談をすればよいか分からず、お願いするまで暫くかかりました。今、考えると、そこには自分自身がどの様に病気に向き合うのか、考えが出来ていなかった為と思います。申し込みのメールを差上げて、自分の向き合い方が定まったと思います。これは一つの段階として、是非必要なことだったと思います。しかも、その御返事の早い事には驚きました。多忙な大先生から即座にご指導をいただくとは思っていませんでした。この時、感謝の気持と信頼感が大きく醸成されました。

再度のご相談では治療について保険の利かない、より良い方法を勧めていただきましたが、結果的に、一般的な放射線治療を受けました。3.11で被災し今は無くなってしまった石巻市立病院でした。それでも不安はあまり感じませんでした。自分で選択したからです。一方、既に始めていたホルモン療法によって今も良好な状態を保つことが出来ています。

その間、いま直接、大変お世話になっている地元・病院の先生他に、どうにもならない時に西尾先生にご相談できると考えて心の支えとなっています。先生のことからのご活躍を期待しつつお礼の言葉といたします。 ∞∞ 山内 伸悦

西尾先生へ

長い間ご尽力くださりまして有難うございました。

私は硬口蓋癌(腺様のう胞癌)の宣告を受けました。ステージ1でしたが、1回目の手術(東大病院)では取りきれず、1年半後(2005年)再発したときに再手術をすべきか大いに悩み、「市民のためのがん治療の会」を通じ、先生に相談させていただきました。

私の場合は「手術的な切除が原則」との回答をいただき覚悟ができました。

東大、国立がんセンター、放射線医学総合研究所、国際医療福祉大学三田病院を尋ねましたが、先生からいただきました「セカンドオピニオン回答書」を提示しますと、驚かれ、快く受診できましたことが思い出されます。医学界における先生のビッグネームによるところ大でした。

結局、国際医療福祉大学三田病院(鎌田先生)で頭蓋底に達していた癌を完全に切り除くことができ、現在はまあまあ普通に生活しております。多数の方々先生に助けられ感謝の気持ちでいっぱいだと思います。これからも益々のご活躍を期待しております。 ∞∞ 深町緋沙子

陽気ながん患者からの報告

2008年4月に愛知医科大学病院で扁平上皮がん(舌:T2N0M0)と診断されました。5~7月と3回の化学療法(シスプラチン+5FU)で連続120時間の点滴の間はさしたる副作用も見られず、暇をもてあました。幸いにも入院した病院が大学病院でしたので、大学図書館に点滴台を引きずって毎日通い、高価な医学書を散々読み漁りました。治療法のみならず術式まで勉強しました。コピーの厚さは7cmにもなります。北海道がんセンターで図書室に忍び込んだときは司書(?)のオバサンに怒られましたけど…今ではネットで治療薬の添付書類や米国の資料(AACR、ACS)の最新情報も手に入ります。

化学療法では寛解には至らず、PRに留まりました。このままでは罫が開かないと考え、ムンテラのときに小線源治療を宣言し、主治医チームに紹介状を書くようPDFの書式を渡しました。彼らは不満そうで、外科的手術をしたかったようです。しかし範囲を考えると半側切除になることは解っていました。そして北海道がんセンターまで車でたどり着き、Cs137×114時間の計64Gyの刺入照射を受けました。今はCRです。

この治療でわかったことは、“患者も勉強しなければいけません”と言うことです。“よく解らないので、先生にお任せします”では悲劇を生みます。最適な治療法・それができる医療機関・そして医師は患者が選ぶ時代です。勉強していない医師より勉強している患者のほうがマシです。診療料が細分化している今、隣のことはわからない医師が多いような気がします。自分の体で治験している患者のほうがはるかに詳しくなります。

勉強すれば、必ず応えてくれる医師はいます。西尾先生はその一人です。教科書通りに頸部リンパ節に転移したときもメールで適切なアドバイスを頂き、何度か名古屋・札幌を往復しました。西尾先生のご配慮で手術室を予約して頂き、無事に郭清手術も成功しました。このような治療ができる医師はそうそういるものではありません。まともな問診・触診・聴診もで

きない医師を散々見てきました。患者も馬鹿ではありません。みなさん西尾先生がいつまでも患者の味方でおられることを祈るうではありませんか。 ◇◇◇ 西村 弘之

私が当会に入会（第1回の講演会終了後入会）以来、講演会のお手伝い（最近、地方での講演会の開催が多くなったこともあり、お手伝いから遠ざかっていますが）をする機会が何度もありましたが、お忙しいにも拘らず、そのたびに札幌から駆けつけて下さる先生のお姿には、本当に熱心で、当会には無くてはならない、頼りになる、凄い先生だと、いつも感服しておりました。

当会がこのように大きくなり、長年にわたっての活動の継続の実現は、會田代表のご努力は勿論ですが、西尾先生のご指導、サポートがあってはじめて可能であったと言っても過言ではありません。講演会でのお話、講演会終了後の懇親会でのお話は、何れも、明快でメリハリのある、一本筋の通ったお話で、大変説得力があり、がん治療、放射線治療に関する多くの知識を習得させて戴きました。

ご退職後は、新たな場で医学界のためにご活躍されることとは思いますが、引き続き当会の大黒柱としてご指導をお願いできればと思います。 ◇◇◇ 川口 利春

📖 西尾先生 花咲く宮崎より 📖

がんセンターのお仕事を最後まで御勤めになられた大事業の貫徹おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。始めは医療コーディネーターとして、患者さんのお声を聞かせて頂きたく、お願いしてのサロンの参加でした。けれども、関わらせていただくうちに、がんについては、「市民のためのがん治療の会」を紹介すれば良いと気付き、その後は、サロンのお手伝いをさせて頂きたいだけでの参加でした。とは言えお茶を用意するくらいで、何かと足りなくてご迷惑を御掛けした事、どうぞ御許し下さい。本当にお世話になりありがとうございました。

西尾先生は、月に一度のサロンには、手術の合間にも、時間をあけて必ず駆けつけられて、日本のがん医療、世界の、政治経済との関係、死生観、現場でのエピソード、時には社会への憤りも吐露されつつの自称漫談にからめた、患者さんへの丁寧なアドバイスをされていました。がんとゆう病を得て、うつむきがちに來られた方が、先生とお話されて、時には涙して、そのうち顔を挙げ、笑顔になって、病の呪縛から解きほだかれて、別人のように穏やかな表情で帰路につかれるご様子に出会うたび、サロンの存在の大きさを痛感していました。

そして、なにより、ひとりひとりの患者さんと真摯に向き合われる先生のお姿が強く暖かく心に残っております。先生のことからのご健康とご活躍をお祈りしております。 ◇◇◇ 田中 久子

西尾先生 長い間ご苦勞様でした。そして、ありがとうございました。私が先生にお会いしたのは平成9年7月、上咽頭がんと診断され、山形の病院から転院したのがきっかけでした。北の都札幌での入院生活は、私にとって一生忘れられない思い出そして経験となりました。毎朝5時に起きて病院の中を1時間位歩くのが目標でした。多くの患者さんと一緒に歩き、時には立ち止まり、何処の病気だとか、どんな治療をしているのかなど、語り合ううち、多くの友達が出来ました。入院中、先生がバスケットボールで怪我をされ、車椅子生活をされていた時があり、私は先生の車椅子を押して病院の中を歩いたことがあります。これは生涯忘れられない思い出です。また、患者仲間と週末には外出をし食事会をしたり、大通公園に散歩に行ったり、時には魚釣りに行ったりしました。放射線治療を受けに来ていたはずですが、副作用のことなどあまり気にならず、自分は何をしに北海道に来ているのかなあ？等と自問自答する事も度々でした。思うに、本当に楽しい2ヶ月間の入院生活でした。

私は母親が同じ上咽頭がんで他界するなど珍しいがん体験しており、先生の著書「放射線治療医の本音増補改訂版」46頁に書いていただく事ができました。がん3兄弟と言われる叔父を含む3人が同じ上咽頭がんに罹り、先生の治療を受け、3人とも完治宣告を受けました。感謝の気持ちでいっぱいです。

良い先生に出会うことの重要性、特に私のように医療環境の良くない僻地において良い先生の紹介を受け、最高の治療を受けることが出来た事をこの上無い幸せと感じ、感謝しております。

例年に無い大雪に見舞われている豪雪地帯の故郷で毎日雪かきをしておりますが、今雪かきが出来ると喜びは、紹介してくれた北海道支部の皆さんのおかげであり、治療に当たってくれた西尾先生のお陰であると毎日毎日感謝しております。

退職後どんなことをされるのかわかりませんが、原発事故の時テレビで時々お見受けすることが出来ました。これからもテレビで元気な顔を見せて下さい。

長い間本当にありがとうございました。 ◇◇◇ 渡部 淑人

📖 私の筋交い、西尾先生 📖

ご縁を深く感謝しております。西尾先生には、この会が発足間もない04年の春、順天堂大 唐澤久美子先生のご講演でお目にかかりました。世間が春を満喫しようという好季なのに、気持ちはちっとも弾みませんでした。化学療法（乳がん再発）に疑問を抱き、他の治療方法を躍起になって捜していた時期です。

続いて京都講演会、平岡真寛先生のお話を受講しました。この年の夏は暑くて、盆地の京都は殊更に蒸し暑かったのですが、お話しに好感がありましたので苦になりませんでした。ご講演会終了後に懇親会にて、ざっくばらんに迷いをご相談できたことも幸いでした。

西尾先生から、セカンド・オピニオンで迅速に、しかも解かり易く放射線治療の有効性を伺いました。当時、私は今以上に無知でした。放射線治療は主治医から勧められて治療が開始されるもので、患者が治療方法に主体的に主治医に相談する

なんて思いもよらなかった。内科、外科、眼科などと同じように放射線科を受診できるとは、知らなかった。

早いものです、あれから十年弱。そうですか、西尾先生はこれまでお勤めの病院を辞されるほどに時間は過ぎたのですね。御蔭様で、この私、今年も還暦です。再発から九十年、程遠いと思えた歳月です。これまでに骨転移騒動、義兄の肺がん治療ご相談、夫の甲状腺腫、そして私の本当の骨転移治療のご相談とさまざまな出来事がありました。

私が患者として成長できた機会は、あわや骨転移か？という騒動の一件があったればこそ、です。西尾先生が常々おっしゃっている「適時に、適切な治療」を選択すること、身をもって知りました。主治医と患者の関係がタテとすると、患者を取り巻く家族や友人、ケアチームはヨコの関わりでしょうか。タテでもヨコでもない西尾先生は、私たちにとって『筋交い』です。捻じれ、歪を防いでくれる支えです。「熱血漢」と會田代表が折紙をつけるお人柄は、患者は勿論、患者を取り巻く多様な諸事に本領を発揮される『筋交い』です。

03年12月に「市民のためのがん治療の会」発足をして十年、開かれた放射線治療のためにご尽力くださいました。この会も大所帯になりました。節が一段と太く、大きくなって遅い大樹に成長を続けていくことでしょう。

改めまして、大変お世話になりました。有難うございます。

西尾先生、ご勇退を惜しむ気持ちで一杯です。折よく今年も、巳年です。「再生」「脱皮」の年です。西尾先生の循環サイクルに最適ということ。ご自身のご健康にご留意なさいまして、長年のがん治療に携わって来られた知恵袋をご開口下さしまして猶々のご活躍を願っております。 ◇◇◇ 南雲 幸江

西尾先生、40年間お疲れ様でした。

小学生だった40年前、鉄欠乏性貧血で三沢の市立病院に入院しました。あの時、既に先生がDrになっていたかと思うとちょっと不思議な感じです。(自分が子供だったので)

初めて先生にお目にかかったのは9年前の5月順天堂大学での講演会の時でした。先生の回答書を携えて県立病院を受診し、無事に治療を終えたことの報告と御礼を伝えに行った時でした。ついこの間のように思い出されます。先生の講演会はいつでもわかり易くまた切れ良くいつまでも聞いていたいと思うお話しでした。秋田の講演会の後の懇親会ではスパイクタイヤ廃絶の話などもでて興味深く聞き入り、また時間となりマルクスの恋愛論が聞けず残念でした。いつか西尾塾で聞きたいと思います。(是非開校して下さい!!)

5年前の函館の講演会での参加者の多さに驚き、夜は先生の仕切りで美しい夜景に感動し、記憶に残る講演会となりました。あっという間の9年間でしたが、先生にとっての40年間もあっという間だったのではないのでしょうか。やり残したこともたくさんあるかと思えます。そして第二ステージの幕開けとなります。存分にご活躍下さい。先生が會田さんを治していなかったら先生との出会いはなかったかと思えます。9年前、人生最大の境地にあった時に救って頂きました。「求めていれば出会える」でした。先生は多くの方々を救って来ました。これはこれからの続いていくのだと思います。最後になりましたが改めて9年前の回答書の御礼を申し上げます。有難うございました。くれぐれもお体に気をつけてお過ごし下さい。 ◇◇◇ 福土 智子

日本の放射線治療界にとって西尾先生が第一線から退かれることは大きな痛手に違いありません。医療放射線に対する日本人の屈折した思いを、西尾先生は、ただ臨床の現場でがんに向かうことによって昇華してこられました。今、先生は数えきれない患者さんと医師の心の支えです。また、放射能の健康被害を心配される方々のために西尾先生は情熱を持って活動されていらっしゃるものと存じます。私たちは今後もずっと西尾先生の闘う姿に励まされ続けるでしょう。 ◇◇◇ 堀川 豊

西尾院長先生さま

がんセンターを退職されてしまい、これから病院に行っても先生の笑顔を見る事が出来ないのは、とても寂しいです。

先生の「楽しくなる講演会」、「元気の出る講演会」などと、沢山聴きに行かせてもらいました。何か困った事があると「市民のためのがん治療の会」にお伺いして、相談させて戴きました。どんなにお忙しくても必ず西尾先生は「市民の為のがん治療の会」にお顔を出して皆さんの相談にのって下さいました。

本当に有難うございました。がんになって良かった事は西尾先生に出会えた事です。生き方、死に方、病気に対する心構え等々沢山教えて戴きました。これからも「がん患者」の為、色々発信続けて下さると信じています。たくさん たくさん有難うございました。 ◇◇◇ 野村 玲子



千代田テクノル細田社長表彰

「市民のためのがん治療の会」
代表 會田昭一郎

「市民のためのがん治療の会」創立当時から本誌「ニュースレター」の印刷製本をご支援いただいている株式会社千代田テクノルの細田敏和社長が、社団法人東京都信用金庫協会の平成24年度優良企業表彰制度において東京商工会議所会頭賞を受賞され、3月7日に表彰式が行われました。

千代田テクノルは医療施設や原子力施設などの作業に携わる人々の放射線被ばく量を測定し、それらの人々の健康を守るサービスを日常業務としている他、放射線治療機器の輸入販売を行い、わが国の放射線治療を支えている数少ない企業の一つです。放射線防護資材も取り扱っており、3・11以後の福島原発事故の処理に際しては放射線防護服を全国から調達して供給するなど、原発事故処理に大きな貢献をされました。

「市民のためのがん治療の会」代表協力医の西尾正道先生が、いち早く主張された住民に放射線被ばく量を測定するガラスバッジを配布して、被ばく線量を測定すべきという提言により行政が対応し始めると、得意の分野であるガラスバッジを供給し、学校などを通じて学童などが携帯し、貴重な被ばく線量のデータ収集が行われました。

今回の受賞はこうした同社の危機に際しての機敏な対応と、地道な研究に裏付けされた高品質の放射線被ばく測定機器等、同社のすぐれた企業活動が顕彰されたものと言えます。

「市民のためのがん治療の会」といたしましては、日頃の当会に対する大きなご支援に心から御礼申し上げますと共に、ご支援いただいております当社がこのような榮譽に浴されましたことをお祝い申し上げます。

同社はまた、サイバーナイフ、RALS（遠隔操作式密封小線源治療装置）など、がん治療の放射線治療機器の研究開発でもトップレベルにあり、がん患者にとっても今後のさらなるご成功を心から祈念いたします。

このたびは誠にありがとうございました。



表彰状を手にする細田社長（左）と安川本部長



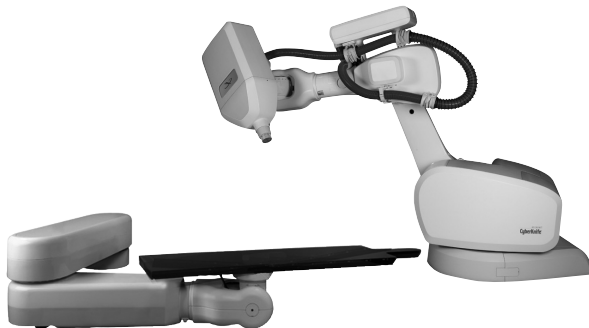
TECHNOL

放射線の安全利用技術を基礎に 人と地球の安心を創造する



すばらしい可能性を持つ放射線を
皆様に安心してご利用いただくことが私たちの願いです

定位放射線治療システム
サイバーナイフラジオサージェリーシステム



医療機器営業部 TEL 03-3816-2129



◆お問い合わせ

営業統括本部 TEL 03-3816-1163 FAX 03-5803-4870
ホームページURL <http://www.c-technol.co.jp>

株式会社 **千代田テクノル**

〒113-8681 東京都文京区湯島1-7-12
千代田お茶の水ビル

下記書籍は一部を除き2012年末を持ちまして当会での取り扱いを中止いたしました。
以後は書店、アマゾン等にてお求めください。永年ご利用いただきましてありがとうございます
(2013.4)

推薦書籍・DVDのご案内

書 籍 名	著 者	発行日	出 版 元	定 価
がん医療の今 第3集	市民のためのがん治療の会	2013/02	旬報社	¥1,400+税
がん医療の今 第2集	市民のためのがん治療の会	2011/09	市民のためのがん治療の会	¥1,300 (会員特価¥1,000)
がん医療の今 第1集	市民のためのがん治療の会	2010/10	市民のためのがん治療の会	¥1,500 (会員特価¥1,000)
増補改訂版 放射線治療医の本音 ～がん患者2万人と向き合って～	西尾 正道	2010/04	市民のためのがん治療の会	¥1,000
がんは放射線治療でここまで治る	市民のためのがん治療の会	2007/12	市民のためのがん治療の会	¥1,000
放射線健康障害の真実	西尾 正道	2012/04	旬報社	¥1,000+税
今、本当に受けたいがん治療	西尾 正道	2009/05	エム・イー振興協会	¥1,500+税
がんの放射線治療	西尾 正道	2000/11	日本評論社	¥2,000+税
内部被曝からいのちを守る —なぜいま内部被曝問題研究会を結成したのか—	市民と科学者の内部被曝問題研究会編	2012/01	旬報社	¥1,200+税
見えない恐怖 放射線内部被曝	松井 英介	2011/06	旬報社	¥1,400+税
放射線医療 CT 診断から緩和ケアまで	大西 正夫	2009/09	中央公論新社	¥840+税
多重がんを克服して	黒川 宣之	2006/02	金曜日	¥1,300+税
眠れ! 兄弟がん —がんになった—外科医の告白—	篠田 徳三	2004/08	文芸社	¥1,300+税
前立腺ガン —これだけ知れば怖くない— (第5版)	青木 学 訳	2010/02	実業之日本社	¥1,500+税
最新版 私ががんならこの医者に行く	海老原 敏	2009/08	小学館	¥1,700+税
前立腺ガン治療革命	藤野 邦夫	2010/04	小学館	¥700+税
前立腺がん治療あれこれ 密封小線源治療法とは? 小線源治療法のDVD	三木 健太 青木 学 他	2009/09	制作 東京慈恵会医科大学	¥1,000

入会案内、会についてのお問い合わせなどの場合は、e-mail がご便利ですが、FAX、郵便の場合はこのページをコピーされ、下記にご記入の上お送りいただくとご便利です。
ご連絡先は下記の「会の連絡先」をご覧ください。

フリガナ		
お 名 前	(姓)	(名)
ご 住 所	〒	
ご自宅 TEL () - () - ()		
ご自宅 FAX () - () - ()		
電話とFAXの番号が同じ場合は「同じ」、FAX を使っておられない場合は「なし」とご記入下さい。		
e-mail :		

編集・発行人 會田昭一郎
発行所 市民のためのがん治療の会
制作協力 株式会社千代田テクノ
印刷・製本 株式会社テクノサポートシステム

会の連絡先 〒186-0003
国立市富士見台1-28-1-33-303 會田方
FAX 042-572-2564
e-mail com@luck.ocn.ne.jp
URL : <http://www.com-info.org/>
郵便振替口座 「市民のためのがん治療の会」
00150-8-703553